

2025年6月3日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社アズパートナーズに「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社アズパートナーズ（代表取締役社長 兼 CEO：植村 健志）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋が見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社アズパートナーズについては、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

① IoT の活用を通じた、介護事業における労働環境およびご入居者の ADL 改善

事業内容	介護付きホーム等のシニア事業を実施。全ホームに業界初の IoT システム「EGAO link®」を導入し、ご入居者の自立支援に向けた科学的介護、従業員の働きやすさと働きがいを実現。DX 化を支援する「介護 DX サポート事業」、AI を活用したケアプラン・BI ツール開発等、業界の新しい可能性を広げる取り組みを展開中。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題	医療・福祉業界の人材不足の解消
社会課題解決への貢献内容	IoT システム「EGAO link®」や AI、BI ツールを活用することで、介護者は記録や巡視などの業務時間を大幅に削減でき、夜間勤務の負担軽減や労働環境改善も可能です。これにより福祉業界の人材不足解消にもつながる可能性があります。さらに、リアルタイムでの情報共有や AI、BI ツールでの効率化により介護サービスの質が向上し、入居者の ADL（日常生活動作）改善への貢献が期待されています。

（参考）社会課題概要

日本の高齢化率は 28.4%で、ここ 10 年で要介護・要支援認定者数は約 1.4 倍に増加しています。医師や看護師、介護職員の供給数は増加していますが、需要に追いついておらず、医療・介護従事者の負担が増えています。介護職員の不足によって十分な介護サービスを受けることができない場合、被介護者の同居家族の介護負担が大きくなります。高齢化が進む日本において、老老介護や認知介護などの増加が懸念されます。

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。

以上